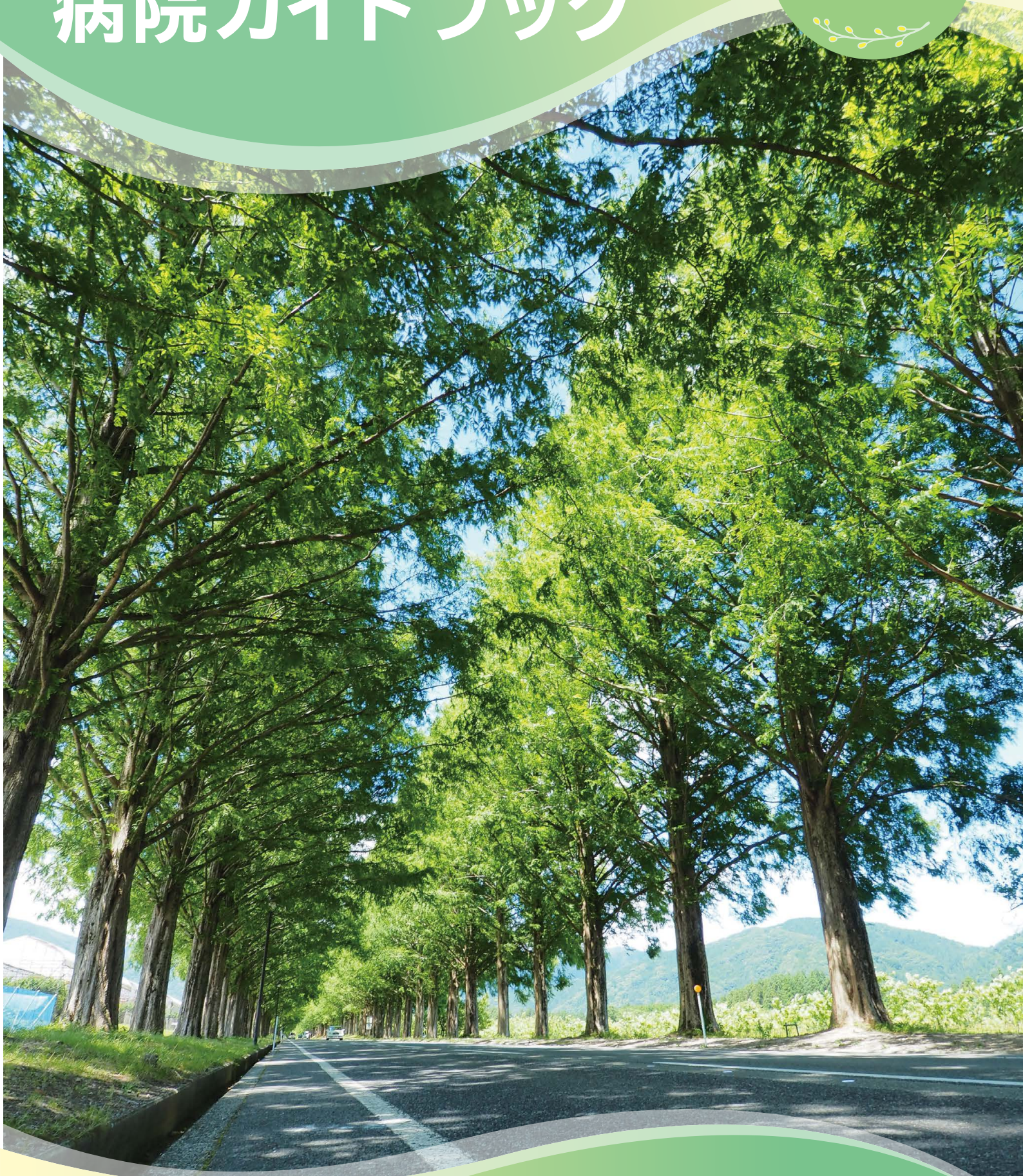


滋賀県医師臨床研修 病院ガイドブック

2026



SHIGA

滋賀県 医師臨床研修 病院ガイドブック 2026

<u>市立大津市民病院</u>	3
<u>大津赤十字病院</u>	5
<u>滋賀医科大学医学部附属病院</u>	7
<u>JCHO 滋賀病院</u>	9
<u>淡海医療センター</u>	11
<u>滋賀県立総合病院</u>	13
<u>済生会滋賀県病院</u>	15
<u>公立甲賀病院</u>	17
<u>近江八幡市立総合医療センター</u>	19
<u>東近江総合医療センター</u>	21
<u>彦根市立病院</u>	23
<u>市立長浜病院</u>	25
<u>長浜赤十字病院</u>	27
<u>高島市民病院</u>	29

- ・各病院の医師数などのデータは、令和7年4月1日現在のものです。
- ・医師数は臨床研修医を除いた常勤医の人数、患者数は令和6年度の実績です。
- ・基本19領域診療科目は、各病院で取り扱う大まかな領域を目安として表示したものです。
具体的な診療科は、各病院ホームページでご確認ください。
- ・研修プログラム等について、最新の情報は各臨床研修病院へご確認ください。

滋賀県臨床研修病院 MAP



市立大津市民病院



公立甲賀病院



大津赤十字病院



近江八幡市立総合医療センター



滋賀医科大学医学部附属病院



東近江総合医療センタ



ICHO滋賀病院



彦根市立病院



淡海医療センター



市立長浜病院



滋賀県立総合病院



長浜赤十字病院



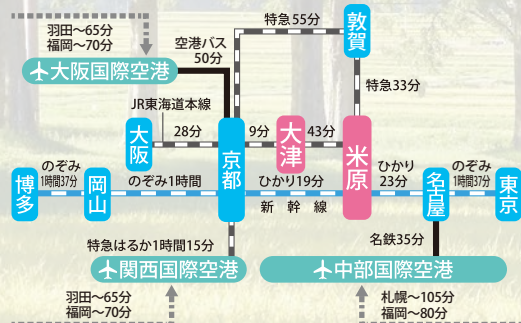
濟生会滋賀県病院



高島市民病院

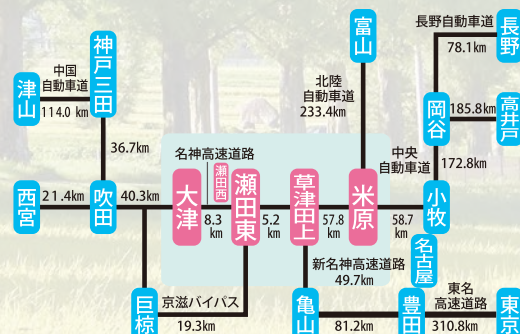


公共機関利用の場合

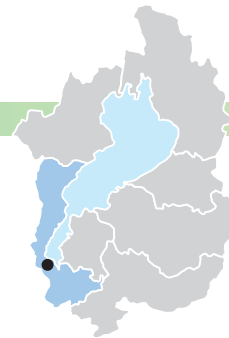


※列車の所要時分は区間の最速です。

有料道路等利用の場合



1 市立大津市民病院



所在地 大津市本宮二丁目9-9
開設者 理事長 河内 明宏
開設年月日 昭和12年4月1日
病院長 日野 明彦

 病床数 401 床	 外来患者数 712人 (1日平均)	 入院患者数 299人 (1日平均)
 医師数 86人 男性57人 女性29人	 指導医数 41人	 臨床研修医数 21人 男性14人 女性7人

基本19領域診療科目

整形外科

産婦人科

内科

小児科

皮膚科

精神科

外科

麻酔科

病理

臨床検査

救急科

泌尿器科

脳神経外科

放射線科

病院の アピールポイント

院長 日野 明彦

現代医療は細分化、専門化が進んでいますが、その一方で、一人一人の患者さんは実に多種多様な問題を抱えておられます。専門医が自分の専門領域だけに専念するような医療では、対応が難しくなっているのが実情です。しかも、実際の臨床には、教科書に書いてないことがたくさんあります。

研修医の皆さんは、いずれ各領域の専門医を目指されることが多いと思いますが、専門領域以外の医療をできるだけ広く体験することは、皆さんの未来に大きな意味があります。研修では、できるだけ多くの疾患に触れ、実践的な臨床技能を身につけていただきたいと思います。当院の常勤医師は皆さんが安全に、かつ充実した研修生活を送られるよう、全力で支援いたします。

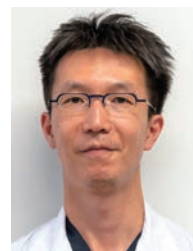


臨床研修センター長 城 正泰

当院では、ERのファーストタッチを通し、多数のCommon diseaseはもとよりRare caseも経験できます。各科・ICU診療も充実しており、救急疾患の初期対応から専門診療まで幅広く学べます。

医師としての基本的な診療能力を身につけていながら、将来の目標を見つけてください。

2年目以降は、その目標に向けた自由選択肢も設けており、関連施設での研修も可能です。熱意のある皆さんと働けることを楽しみにしています。



研修医 和田 拓真

大津市民病院の魅力を研修医目線で3つ紹介させていただきます！

1つ目は、手厚い指導体制、充実した研修環境です。当院は救急が充実していて、研修医がファーストタッチを行うため、たくさんの症例を経験できます。さらに、上級医の先生方から丁寧なフィードバックをいただくことができ、経験症例を深めることができます。また、勉強会も充実していて、朝の救急勉強会、感染症の勉強会など学ぶ機会が様々あります。

2つ目は、雰囲気の良いことです。当院は、上級医の先生方、メディカルスタッフの方も皆さん気さくで、なんでも相談しやすい環境です。もちろん研修同期も仕事、プライベート問わず仲がよいです。仕事もプライベートも充実させたい方にはとてもおすすめです。

最後に福利厚生です。当院は手当等も充実して好待遇なので仕事のモチベーションはとても高いです。また、研修医だけの研修医室があるので、研修医同士で症例の相談もしやすく、休憩中はリラックスできます。加えて、当院は大津市の膳所に位置しているので、京都駅まで電車で約10分とアクセスもよく、周囲にも色々な飲食店や商業施設があるので充実した研修生活を送ることができます。

大津市民病院の魅力はここには書ききれないほどあります！当院の研修に興味がある人はぜひいらしてください。お会いできることを心待ちにしております！



Mygoalをしっかりと定めて取り組む
研修医を求めます

「急がば回れ」各自が納得できる
研修をすることができます

研修プログラムの目的、特徴

日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身につけることが目的です。将来の進路にとらわれず初期治療、救急医療などの基本的な知識・技術を修得すると共に、患者の立場に立って思いやりと気配りのできる医師が目標です。

臨床研修は自己研鑽が基本です。知識や技能の修得はもちろんですが、人格の涵養に重点を置き、

医師としての人格教育を基本として、探究心と医の心をもつこと、社会人として尊敬される医師の養成を目指します。

2年間で全体的標準医療を修得するために、各診療科での研修を縦系とするなら、E R型救急外来での研修を横系と位置づけ、関係診療科・コメディカルとの連携、チーム医療への参加を学びます。

研修スケジュール例

1 年目	24週		4週	4週	4週	4週	4週	4週
	内科		小児科	救急	精神科	産婦人科	外科	麻酔科
2 年目	8週	4週	44週					
	救急	地域医療	選択科目					

研修協力病院、研修協力施設

滋賀県立精神医療センター(精神科)、医療法人明和会琵琶湖病院(精神科)、京都府立医科大学附属病院(産婦人科・選択科)、京都大学医学部附属病院(産婦人科・選択科)、社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院(産婦人科)、滋賀医科大学医学部附属病院(選択科)、大阪医科大学附属病院(外科系選択科)、医療法人良善会ひかり病院、医療法人幸生会琵琶湖中央リハビリテーション病院、長浜市立湖北病院、ハッピーねもとクリニック、医療法人滋賀勤労者保健会坂本民主診療所、医療法人滋賀勤労者保健会膳所診療所、滝本医院、医療法人なかじま内科・整形スポーツクリニック、医療法人西山医院、医療法人社団新緑会森井眼科医院、米村小児科、医療法人滋賀家庭医療学センター弓削メディカルクリニック、医療法人社団湖光会湖山クリニック、ピースホームケアクリニック(地域医療)

募集要項

- [応募資格] 医師国家試験合格予定者
[募集人数] 9人
[身分] 研修医(嘱託職員)
[給与] 1年次:331,300円/月+賞与(年50万円)
2年次:341,700円/月+賞与(年60万円)
通勤手当、期末手当、時間外手当等の支給基準は別に定めるところによる。当直手当(1回:1万円)
[社会保険] 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
[休暇] 年次有給休暇:年20日(4月1日から翌年3月31日まで)
その他の休暇については別に定めるところによる

育児支援の取組

- ・院内保育
- ・短時間正社員制度
- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和

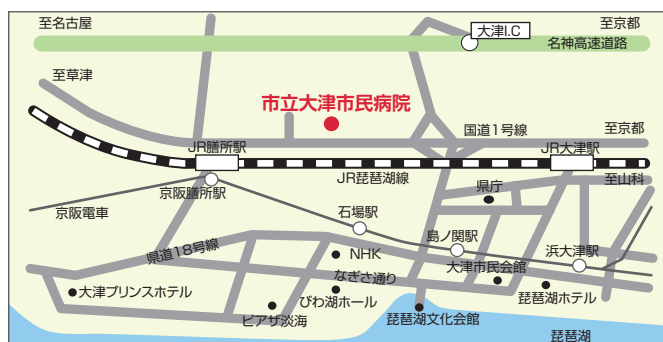
など



応募連絡先

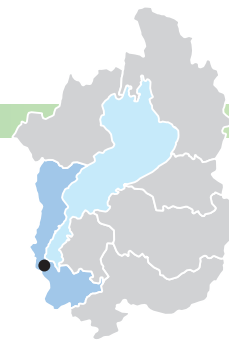
市立大津市民病院

- [所在地] 大津市本宮二丁目9-9
●JR膳所駅 徒歩10分
●名神高速 大津IC 7分
[担当部署] 臨床研修センター(事務局総務課)
[電話] 077-526-8349
[FAX] 077-521-5414
[E-mail] och3510@och.or.jp



- ① 市立大津市民病院
- ② 大津赤十字病院
- ③ 滋賀医科大学附属病院
- ④ JCHO 滋賀病院
- ⑤ 淡海医療センター
- ⑥ 滋賀県立総合病院
- ⑦ 済生会 滋賀県病院
- ⑧ 公立 甲賀病院
- ⑨ 近江八幡市立 総医療センター
- ⑩ 東近江総合医療センター
- ⑪ 彦根市立病院
- ⑫ 市立長浜病院
- ⑬ 長浜赤十字病院
- ⑭ 高島市民病院

2 大津赤十字病院



所在地 大津市長等1丁目1-35
開設者 日本赤十字社
開設年月日 明治37年4月
病院長 小川 修

病床数  672床	外来患者数  1450人 (1日平均)	入院患者数  481人 (1日平均)
医師数  218人 男性146人 女性72人	指導医数  79人	臨床研修医数  30人 男性18人 女性12人

基本19領域診療科目

整形外科

産婦人科

内科

小児科

皮膚科

精神科

外科

麻酔科

病理

臨床検査

救急科

泌尿器科

脳神経外科

放射線科

形成外科

リハビリテーション科

総合診療

病院の

アピールポイント

院長 小川 修

本院は大津市(約34万人)の中心に位置し、創立120年を迎える地域の中核病院です。赤十字の理念として、救急医療・地域医療・災害医療等の面から地域に貢献することを掲げています。



特に「高度救命救急センター」は県内で唯一の指定を受け、年間の救急患者数は25,235人(一日平均70人)、救急車受入台数は8,052台(一日平均22台)と多くの患者さんを受け入れ、高度な医療水準のもと治療を行っており症例も多彩です。

また、「地域医療支援病院」として地域医療との連携を図りつつ、切れ目のない医療サービスの提供に努めています。災害医療では、「基幹災害拠点病院」として、滋賀県災害医療体制構築の一役を担っており、職員の災害に対する意識は高いものがあります。

このような特徴を持つ病院環境のもとで、多彩な症例を経験し、地域医療への貢献を身をもって感じられる研修ができます。

医師として、社会人としての第一歩を、地域医療の充実という大きな目標に向かって私たちと一緒に踏み出しましょう。

研修医 由良 順一

この病院は、成長したいと頑張る人をとことん応援してくれる研修病院です。学びたいと思ったときには実践できる機会があり、またその熱量に真摯に応えてくださる方たちがそろっています。総合内科的な管理、外科的な手技、研修医として欠かせないルート確保や救急外来業務など、あらゆる分野にチャンスがあり、様々な経験を積むことができます。困ったときには、内科・外科の垣根を越えたプロフェッショナルに相談すれば適切なアドバイスを受けられます。日常的にそのような環境の中で学べるのは、大きな強みだと感じています。また、症例も過去から現在まで、何千何万例もの数があり同様の症例を辿ることさらに知識を深めることもできます。まさに「古きを訪ねて新しきを知る」を実地で体現できる環境です。各科を回る際にはそれぞれに指導医がつき、実践的な指導と豊富なノウハウを惜しみなく提供してください。そして最後に、共に研修する同期は、それぞれに強い想いをもって当院に飛び込んできた、本当に刺激的で素晴らしい仲間ばかりです。自分のなりたい姿を想像し、走り抜けるための最高の環境と一緒に働きましょう。



積 極性、協調性を持って共に学び
向上していける研修医を求めます

豊 富な症例と指導医から総合力を持った
専門医を目指すことができます

研修プログラムの目的、特徴

厚生労働省の基本指針に基づき、2年間に研修医が修得すべき目標を履修できるようにプログラム・カリキュラムを組んでいます。

また、高度救命救急センターを運営している特徴を生かして、救急医療について救急科にて12週間の研修を行うことができます。

《プログラム カリキュラムのコンセプト》

- ① 将来専門としたい診療科を中心に関連の診療科で研修できます。
- ② 研修目標修得のために弾力的な運用を行えるよう年度途中でも各診療部との調整を実施できます。

研修スケジュール例

1 年目	4週	4週	8週		4週	4週	4週	4週	8週	4週	4週	
	総合診療科 腎臓内科	呼吸器 内科	外科		消化器 内科	循環器 内科	脳神経 内科	選択科	救急科	糖尿病 内科	血液免疫 内科	
2 年目	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	8週	4週	4週
	選択科	選択科	選択科	救急科	精神科	地域 医療	選択科	選択科	産婦人科	小児科	選択科	選択科

※ 臨床研修開始前に医師・社会人として必要な知識・技術を身に付ける研修等を行うオリエンテーション期間あり。
※ 麻酔科を選択科目とした場合のローテーション期間は12週とし、十分な研修期間を確保しています。
※ 一般外来研修は、内科、小児科、地域医療研修の期間中に並行研修として行います。
※ 表記スケジュールは一例です。

研修協力病院、研修協力施設

大津赤十字志賀病院、滋賀里病院、弓削メディカルクリニック、ピースホームケアクリニック、
南高山地域医療センター

募集要項

- [応募資格] 大学の医学部又は医科大学を卒業見込の者で、医師免許取得見込の者
- [募集人数] 14人
- [選考方法] 面接試験、小論文、英文読解
- [身 分] 研修医師（常勤嘱託医師・1年毎の契約更新方式）
- [待 遇] 報酬 1年次：月額350,000円 2年次：月額360,000円
- [そ の 他] 通勤手当、当直手当、時間外手当（所属長の命令によるもの）、賞与（年2回、各最高200,000円）
社会保険制度加入（健康保険・厚生年金・雇用保険・労働保険等）、宿舍設備あり

育児支援の取組

- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和
- ・日直の免除、緩和

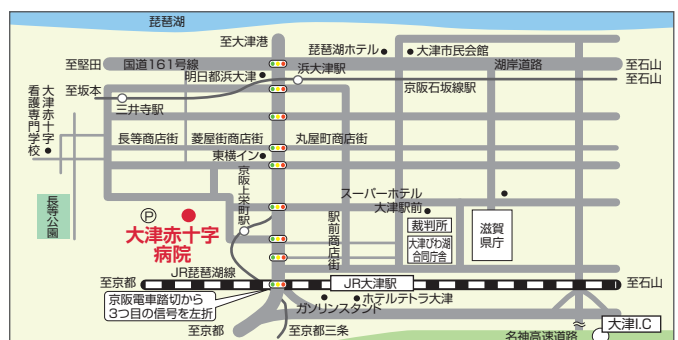
など



応募連絡先

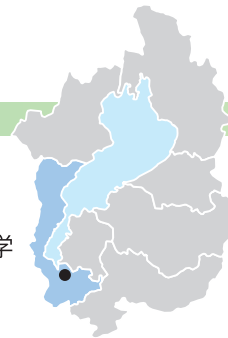
大津赤十字病院

- [所在地] 大津市長等1丁目1-35
● JR大津駅 徒歩10分
● 京阪上栄駅 徒歩1分
● 名神高速 大津IC 10分
- [担当部署] 人事課
- [電 話] 077-522-4131
- [F A X] 077-525-8018
- [E-mail] jinji@otsu.jrc.or.jp



- ① 市立大津市民病院
- ② 大津赤十字病院
- ③ 滋賀医科大学附属病院
- ④ JCHO 滋賀病院
- ⑤ 淡海医療センター
- ⑥ 滋賀県立総合病院
- ⑦ 済生会 滋賀県病院
- ⑧ 公立 公甲賀病院
- ⑨ 近江八幡市立総合医療センター
- ⑩ 東近江総合医療センター
- ⑪ 彦根市立病院
- ⑫ 市立長浜病院
- ⑬ 長浜赤十字病院
- ⑭ 高島市民病院

3 滋賀医科大学医学部附属病院



所在地 大津市瀬田月輪町
開設者 国立大学法人滋賀医科大学
開設年月日 昭和53年4月1日
病院長 田中 俊宏

病床数 596床	外来患者数 1233人 (1日平均)	入院患者数 498人 (1日平均)
医師数 406人 男性308人 女性98人	指導医数 219人	臨床研修医数 65人 男性40人 女性25人

基本19領域診療科目

整形外科

産婦人科

内科

小児科

皮膚科

精神科

外科

麻酔科

病理

臨床検査

救急科

形成外科

リハビリテーション科

放射線科

病院の/

アピールポイント

医師臨床教育センター長 川崎 拓

本院ではエキスパート医師から専攻医まで多数在籍しており、全診療科に教育医長を配置した責任ある指導体制のもと、身近なロールモデルの先生が多く在籍しているため、将来の目標となる医師像を必ず見つけられます。

初期研修では豊富な選択肢の5つの研修プログラムを用意しています。大学病院での研修が中心の標準型総合研修Aプロと周産・母子型Bプロでは、2年目に最大4ヵ月間希望する協力型病院（1ヵ月単位で最大4ヵ所選択）での京都・滋賀地区の院外研修が可能です。それに加え、全国的にも札幌医科大学、鹿児島市立病院NICU、千里救命救急センターでも研修できます。1年目協力型病院Cプロでは、18ヵ所ある京都・滋賀の協力型病院（大津赤十字病院も加わりました）の中から希望で選択し研修できます。その他、基礎研究医コース、地域医療重点コースも設置しています。

初期研修修了後の新専門医制度では、本院のほとんどの診療科は新専門医制度での基幹病院であるため、初期研修から後期研修へとシームレスな研修で専門医が取得できます。

豊富な選択肢の揃う当院で、研修しながら将来やりたいことを見つけませんか？研修病院は手技や技術を身につける所だけではなく、我々は2年間の初期研修だけでなく、研修修了後も皆さんが一人前になるまでサポートします。



研修医 仲 真友子

Bプログラム（周産母子研修コース）の2年目に入りました。研修医の成長を真剣に考えてくださる指導医の先生方と、気軽に相談し合える同期に恵まれたことが良かったと思っています。

1年目は内科の6診療科に加え小児科、産婦人科、麻酔、救急、外科と盛りだくさんでした。2年目の9ヵ月間は滋賀県内外の多数の協力型病院も含め自由に診療科を選択し、さらに精神科、救急、地域研修を行います。これからの医師としてのキャリアを考えたときに、全診療科が揃った大学病院で、専門医の指導のもとに豊富な症例を経験し、基礎的な知識と実践力を幅広く身につけることができるのは有利だと思います。

初期臨床研修医が所属する医師臨床教育センターには教授をはじめ多くのスタッフがおられます。研修する診療科の選択や日々の実習に対するアドバイスなどサポートが充実しています。また、出身大学による分け隔ての無い研修体制もお勧めの一つです。研修医控室も広くて居心地が良く、日々縦横の情報交換が行われています。ぜひ当院で一緒に働きましょう！皆さんと一緒に働ける日を心より楽しみにお待ちしております。



誠意と向上心を持ち、より高いレベルを目指す研修医を求めます

救急や総合診療もより充実、研修中に将来の専門を選択できます

研修プログラムの目的、特徴

滋賀医科大学での臨床研修は、患者さんから信頼される全人的医療を行うことができる医師を育てていくことです。このためには患者さんや指導医、上級医、同僚を含めた周囲の人々とのコミュニケーション能力が基本となります。

本院では、初期トレーニング段階でルールに慣れていくためのオリエンテーションや採血講習、BLSなど各種トレーニングコースを設定しています。プライマリ・ケアから3次救急まで、多角的な医療現場のニーズに対応可能な医師の育成に努めています。

☆プライマリケアから2次・3次救急にいたる幅広い実践研修

☆見学だけに終わらない実地医療

☆多数の指導医によるマンツーマン指導

☆研修医約70名のコンパクトな医科大学です。

☆東近江総合医療センター・JCHO滋賀病院・公立甲賀病院との連携による総合内科・総合外科研修(Aプログラム、地域医療重点プログラム)

☆2年目の自由選択科ローテ中も、希望で救急アドバンスコースも選択可能

☆3年目以降の専門研修を視野に入れた多彩なプログラム(A～C、基礎研究医)

プログラム名	1年目	2年目	募集人数
Aプログラム	滋賀医科大学	滋賀医科大学40週(うち協力型病院で最大4ヵ月) 東近江総合医療センター・JCHO滋賀病院・公立甲賀病院から選択4週	13人
Bプログラム	滋賀医科大学	滋賀医科大学44週(うち協力型病院で最大4ヵ月)	4人
Cプログラム	協力型病院	滋賀医科大学	16人
地域医療重点プログラム	滋賀医科大学	医師少数地域で12週間研修	1人
※ 基礎研究医プログラム	滋賀医科大学	滋賀医科大学20～28週(うち協力型病院で最大2ヵ月) 基礎研究医研修16～24週	1人

※通常の選考スケジュールとは異なるため、HPを要確認。

研修スケジュール例 (Aプログラム)

1年目	24週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
	内科 (うち内科1つは総合診療3週を含む)	外科	救急	救急or 麻酔科	小児科	産婦人科	精神科
2年目	32週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
	自由選択科 (最大4ヵ月間、協力型病院にて院外研修可能)	救急	地域研修	外科 (選択)	東近江or JCHO滋賀or 公立甲賀		

Bプログラム(周産母子研修コース)では産婦人科・小児科合計12週必修とする。

Cプログラム(1年目協力型病院研修コース)では1年目を協力型病院18ヵ所より選択し、研修する。

研修協力病院、研修協力施設

(研修協力病院) 大津赤十字病院、市立大津市民病院、淡海医療センター、JCHO滋賀病院、滋賀県立総合病院、公立甲賀病院、東近江総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、彦根市立病院、市立長浜病院、長浜赤十字病院、高島市民病院、市立野洲病院、日野記念病院、湖東記念病院、済生会滋賀県病院、医仁会武田総合病院、宇治徳洲会病院、京都医療センター、京都岡本記念病院、京都桂病院、洛和会音羽病院、札幌医科大学、鹿児島市立病院等
(研修協力施設) 弓削メディカルクリニック、永源寺診療所、きづきクリニック、喜界徳洲会病院、その他草津・栗東地域を中心に多くの診療所等

募集要項

- [応募資格] 医師臨床研修マッチングに参加し、第120回医師国家試験を受験予定の者
[募集人数] Aプログラム13人、Bプログラム4人、Cプログラム16人、地域医療重点プログラム基礎研究医プログラム1名 計35名
※地域医療重点プログラム、基礎研究医プログラムは通常の選考スケジュールとは異なりますので、詳細は滋賀医科大学医師臨床教育センターのHPを必ずご確認ください。
[試験日程] 【第1回】令和7年8月1日(金) 【第2回】令和7年8月29日(金)
[選考方法] 筆記試験 学外募集者は引き続き面接
[処遇] 基本給 月額9,100円、臨床研修手当 月額162,000円(オンコール手当7,000円、呼び出し有:3,000円、月4回限度含む。)
※月収約344,000円、年収約4,128,000円
[宿舎] 有 13戸
[その他] 通勤手当、健康保険、厚生年金保険

育児支援の取組

- ・院内保育
- ・短時間正職員制度
- ・時間外勤務免除、緩和
- ・オンコール勤務の免除、緩和
- ・交代勤務の免除、緩和

など



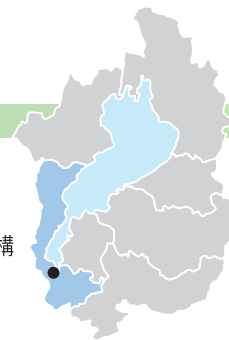
応募連絡先

滋賀医科大学医学部附属病院

- [所在地] 大津市瀬田月輪町
●JR瀬田駅、南草津駅 バス15分
●新名神高速 草津上IC 5分
[担当部署] 医師臨床教育センター病院研修係 原・伊藤
[電話] 077-548-2436
[FAX] 077-548-2832
[E-mail] kensyu@belle.shiga-med.ac.jp



4 JCHO滋賀病院



所在地 大津市富士見台16-1
 開設者 独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO)
 開設年月日 平成26年4月1日
 病院長 来見 良誠

病床数  325床	外来患者数  423人 (1日平均)	入院患者数  177人 (1日平均)
医師数  39人 男性25人 女性14人	指導医数  38人	臨床研修医数  5人 男性2人 女性3人

基本19領域診療科目

整形外科

産婦人科

内科

小児科

皮膚科

精神科

外科

麻酔科

病理

臨床検査

救急科

泌尿器科

脳神経外科

放射線科

病院の/

アピールポイント

院長 来見 良誠

JCHO滋賀病院は大津市の南部に位置する中規模総合病院(325床)です。最寄りの石山駅は京都からJRで15分の距離にあり、国道1号線にもほぼ面しており、交通の便の良い場所に立地しています。JCHO滋賀病院の設立母体は「独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)」で、文字通り地域医療の機能を推進するための医療活動を展開しています。

滋賀医大の地域医療教育研究拠点になっており、地域医療を担う医師の教育や養成、そしてそのための研究をしています。滋賀医大と教育スタッフを共有しており、新専門医制度では互いに連携し合います。

JCHO滋賀病院の特長は、大規模な病院にない小回りの利く医療(例えば1日で必要な検査がほとんどでき、その日のうちに診断が付き治療を開始できる)で、迅速で効率のよい医療を実践していきます。また、近隣の大病院にない特殊な機能(健診センター、介護老人保健施設、透析・血液浄化センター、地域包括ケア病棟)を有し、包括的な医療を提供しています。

毎日開催されている総合診療カンファレンスでは、すべての診療科の症例が提示されるため、自然に総合力が養われ、いつの間にか総合力のある専門医になれる仕組みを構築しています。



研修医 黄友 真央

当院は300床ほどの中規模病院であり、また地域医療を支える役割を担っております。研修医は各年2-3名と少人数であり、そこで研修する者の立場から見た当院の魅力は大きく3つあります。

1つは専門医の先生方との距離が近く、また専攻医が少ないために、臨床に関することを専門医の先生方から直接教えていただくことができ、また様々な内科的・外科的手技を経験する機会が豊富にあること。2つめは虫垂炎や誤嚥性肺炎、尿路感染症などのいわゆるコモン・ディーズを診る機会が多く、日常の研修や日当直を通して臨床能力の基礎を身につけることができること。そして3つめは自身の裁量で自由度の高い研修ローテーションを組むことができ、自身の興味が向く分野を掘り下げる時間を十分に持つことができることです。

また扱われる全ての症例は、全医師が集まる朝のカンファレンスで共有され、診療科横断的に疾患について勉強できますので、臨床医としての知識やアンテナの感度を高めていくことができるようになっていきます。

大学病院や市中の大規模病院とはひと味違ったアプローチにはなりますが、当院での研修期間を有効に活用すれば、自身の興味と意欲を確かな臨床能力へと昇華させることができます。その意味で、医師としての成長を実感しやすい2年間を過ごすことができる環境であると言えます。

また以上のことに加えて福利厚生・待遇も充実しており、あらゆる面で充足された研修医生活を送ることができるでしょう。当院での研修に興味を持たれた方は是非一度見学にいらしてください。お待ちしております。



総 合力を身につけたいと思うまじめで
積極的な研修医を求めます

毎 日の総合診療カンファレンスで
自然と総合力を養うことができます

研修プログラムの目的、特徴

滋賀県大津医療圏の中規模総合病院であるJCHO滋賀病院を基幹とし、滋賀医科大学と滋賀県内の診療所の協力を得て実施するcommon disease中心の実戦的な初期臨床研修プログラムです。具体的には、JCHO滋賀病院、滋賀医科大学附属病院、協力診療所およびJCHO滋賀病院健診センター・附属介護老人保健施設などでのシーム

レスな研修を通じ、医師としての基本的な資質と診療能力を習得し、予防・診療・介護の面から患者を全人的に見ることができ、地域医療に貢献できる総合力のある医師を育てるプログラムです。

研修スケジュール例

1 年目	24週	4週	8週	4～8週	4週	4週
	内科	麻酔科	救急科	外科	小児科	産婦人科
2 年目	4週	4週	4～8週	36～40週		
	精神科	救急科	一般外来・在宅診療	選択科目(各2～6週) ※希望により、期間の変更や様々な組み合わせが可能。		

※一般外来の研修を行う診療科は、内科(総合診療含む)ならびに地域医療です。地域医療の期間は、協力施設のうち1施設を選択し、研修を行います。

※選択科目は、循環器内科、腎臓・糖尿病・内分泌内科、消化器血液内科、脳神経内科、呼吸器科、総合診療科、救急科、外科、小児科、整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、眼科、麻酔科、健康管理センター、附属介護老人保健施設等

研修協力病院、研修協力施設

滋賀医科大学医学部附属病院小児科・産婦人科・精神科・救急科、弓削メディカルクリニック、浅井東診療所、きづきクリニック

募集要項

- [応募資格] 令和8年3月に大学の医学部を卒業見込で
医師免許所得見込の者または医師免許既所得者
- [募集人数] 2人
- [身分] 任期付常勤医師
- [給与] 年収約5,700,000円(基本給、地域手当、医師手当
含む)、当直、通勤手当等
- [保険] 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金

育児支援の取組

- ・院内保育
- ・短時間勤務制度
- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和
- ・日直の免除、緩和
- など



応募連絡先

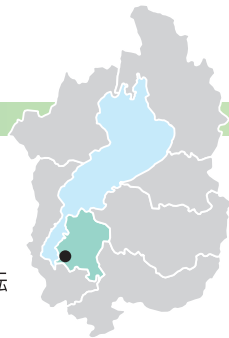
JCHO滋賀病院

- [所在地] 大津市富士見台16-1
●JR石山駅 バス7分
●名神高速 大津IC 13分
- [担当部署] 総務企画課
- [電話] 077-537-3101
- [FAX] 077-534-0566
- [E-mail] soumu@shiga.jcho.go.jp



- ① 市立大津市民病院
- ② 大津赤十字病院
- ③ 滋賀医科大学附属病院
- ④ JCHO滋賀病院
- ⑤ 淡海医療センター
- ⑥ 滋賀県立総合病院
- ⑦ 済生会滋賀県病院
- ⑧ 公立甲賀病院
- ⑨ 近江八幡市立総合医療センター
- ⑩ 東近江総合医療センター
- ⑪ 彦根市立病院
- ⑫ 市立長浜病院
- ⑬ 長浜赤十字病院
- ⑭ 高島市民病院

5 淡海医療センター



所在地 草津市矢橋町1660
開設者 社会医療法人 誠光会
開設年月日 平成9年5月、平成18年4月増床移転
病院長 森谷 季吉

病床数 420 床	外来患者数 808 人 (1日平均)	入院患者数 297 人 (1日平均)
医師数 95 人 男性75人 女性20人	指導医数 33 人	臨床研修医数 18 人 男性13人 女性5人

基本19領域診療科目

整形外科	産婦人科	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科
麻酔科	病理	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科
		臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科	総合診療

病院の/ アピールポイント

臨床研修センター長 水本 明良

淡海医療センターは琵琶湖を臨む滋賀県南部の草津市に立地し、湖南地区の医療圏を担う中核病院です。

当病院では、common diseaseからrare diseaseまで様々な疾患を多数経験することができます。多くの救急患者が受診し、初期治療から急性期の患者を対象とした医療を中心としています。

さらに、社会復帰へ向けての回復期病棟を有し、同じ敷地内では慢性期の治療病院（淡海ふれあい病院）を有しており、患者の治療開始から社会復帰までの流れを経験することができます。

初期臨床研修は、医師としてのみならず、一個人としての社会性の確立にも大きな影響を与えます。我々の病院では、研修医の自主性を重んじ、1年時には基本的な知識や技術を広く習得してもらい、2年時には半年間の自由選択期間を設け、希望する分野での研修を行ってもらいます。

「こんな医師に診てもらいたい！」

研修医のみならず我々の目指す医師像です。

- ・笑顔やあいさつなど、一般人として社会性を持った人であること。

- ・医師としての適切な態度、専門技術や知識を有すること。
- ・研修会や勉強会へ積極的に参加すること。
- ・患者のことを、家族の一員として思えること。

我々と共に、医師として人として学んでいきましょう。



研修医 森島 悠貴

淡海医療センターでの研修は、「ちゃんと学べて、ちゃんと相談できて、ちゃんと楽しい。」そんな毎日です。

滋賀県湖南地域の中核病院として、救急から慢性疾患まで幅広い症例が集まり、初期研修で経験したいことは一通りカバーできます。手術件数・内視鏡件数は県内でもトップクラスで、各分野のスペシャリストがそろっており、専門的な学びも深められます。

研修医1人あたりの上級医の数が多く、先生方はとても親身。やりたいことや研修制度について、研修医の声をしっかりと聞き入れてくれます。手技や当直でも「やってみる？」と声をかけてもらえる機会が多いので、学びたいことを学びたいだけ、実践でしっかり経験できる環境があります。

病院全体の雰囲気も明るく、コメディカルの方々ととても仲良くなれます。草津という便利な立地も魅力で、プライベートも充実。研修と生活、どちらも大切にしたい方にぴったりです。

「学ぶ楽しさを知る」——そんな環境で、一緒に研修してみませんか？

皆さんの見学をお待ちしています。



患

者・職員に思いやりを持ち
チーム医療ができる研修医を求めます

豊

富な症例と自由な選択、充実した
教育環境で研修することができます

研修プログラムの目的、特徴

当院ではcommon diseaseの診断治療と救急患者への対応能力を養うことを目的に、「研修医とともにつくりあげるプログラム」を目指してきました。

平成23年度からの研修制度では、まさに我々が実践してきた研修医自らが自主的にプログラムを作り上げる制度に変更されつつあります。

プログラムは毎月行われる臨床研修評価判定会議で研修医ごとに見直しが行われます。特に、研修医は診療科での到達度や指導医評価をもとに、自ら

プログラム変更を申し出ることも可能です。2年目からは将来専攻する診療科に特化したプログラム選択も認めています。研修医の1日は朝8時からE Rカンファレンスに始まります。各診療科で行われるカンファレンスとともに、毎月行われる研修医主体の研修セミナー、毎週の医局ミーティング、院内勉強会、講演会、CPCや学部主催のMMCなどを通じて、より幅の広い知識と経験を得ることができます。

研修スケジュール例

1 年目	24週		12週	4週	4週	4週
	内科		救急部門 (麻酔科含む)	外科	産婦人科	小児科
2 年目	4週	4週	44週			
	地域医療	精神科	選択科			

研修協力病院、研修協力施設

滋賀医科大学医学部附属病院、湖南病院、淡海ふれあい病院、きづきクリニック 他

募集要項

- [応募資格] 医師国家試験に合格したもの、もしくは合格見込みのもの
 [募集人数] 9人
 [試験日程] 第1回 2025年8月23日(土)
 第2回 2025年8月30日(土)
 [選考方法] 面接
 [身分] 常勤職員
 [給与] 1年次 約5,900,000円
 (430,000円/月+当直手当:15,000円/回、日直手当:15,000円/回)
 ※時間外手当は別途支給
 2年次 約6,100,000円
 (450,000円/月+当直手当:15,000円/回、日直手当:20,000円/回)
 ※時間外手当は別途支給
 [保険] 公的医療保険 有
 [宿舎] 有

育児支援の取組

- ・院内保育
- ・短時間正社員制度
- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和
- ・日直の免除、緩和

など



応募連絡先

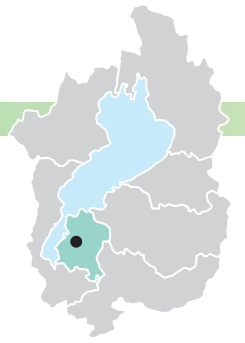
淡海医療センター

- [所在地] 草津市矢橋町1660
 ●JR南草津駅 バス10分
 ●新名神高速 草津田上IC 18分
 ●名神高速 瀬田西IC 15分
 [担当部署] 臨床研修センター
 [電話] 077-563-8866
 [FAX] 077-565-9313
 [E-mail] kensyui@seikoukai-sc.or.jp



- ① 市立大津市民病院
- ② 大病津赤十字病院
- ③ 滋賀医科大学附属病院
- ④ JCHO 滋賀病院
- ⑤ 淡海医療センター
- ⑥ 滋賀県立総合病院
- ⑦ 済生会 滋賀県病院
- ⑧ 公立 甲賀病院
- ⑨ 近江八幡市立総医療センター
- ⑩ 東近江総合医療センター
- ⑪ 彦根市立病院
- ⑫ 市立長浜病院
- ⑬ 長浜赤十字病院
- ⑭ 高島市民病院

6 滋賀県立総合病院



所在地 守山市守山五丁目4-30
開設者 滋賀県知事
開設年月日 昭和45年12月1日
病院長 足立 壮一

病床数  635床	外来患者数  1047人 (1日平均)	入院患者数  367人 (1日平均)
医師数  145人 男性106人 女性39人	指導医数  52人	臨床研修医数  20人 男性16人 女性4人

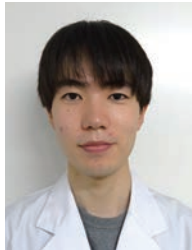
基本19領域診療科目

整形外科	産婦人科	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科
麻酔科	病理	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科
	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科	総合診療	

病院の アピールポイント

研修医 津田 高成

当院は内科、外科ともに診療科が非常に充実しており、幅広い症例を経験できる環境が整っています。各分野の専門性の高い指導医が在籍しており、研修医一人ひとりに親身に寄り添いながら、丁寧な指導を行ってくださいます。また、歳の近い後期研修医の先生方も多く、日々の診療や学習の中で身近な模範として、大きな刺激を受けられるのも特徴です。



さらに、採血やルート確保、エコーなどの基本的な手技から、ルンバールや中心静脈カテーテル挿入といったより高度な処置まで、積極的に経験を積む機会が豊富にあります。病院全体の雰囲気も温かく、看護師をはじめとしたメディカルスタッフとの連携もスムーズで、安心して研修に臨める環境が整っています。

当院での研修が、皆さんにとって充実した一歩となることを願っています。私自身も滋賀県立総合病院で研修ができて本当に良かったと感じており、自信を持っておすすめできます。まずは是非、見学にいらしてください。

研修医 服部 匡恭

当院は内科系の診療科だけでなく、外科系はもちろんマイナー科も含めた幅広い診療科が充実しています。今年1月には小児科も開設され今後ますます多くの診療科を研修できるようになると思います。このような環境では将来の専門を決めかねている研修医は限らない選択肢を得られ、またもう専門を決めている人は一人の患者さんについて当院だけでなく他科との連携が完結するので症例を深く学ぶことができます。



各診療科の先生方は経験豊富で親身に話して下さる方が多く診療上の疑問点から将来の進路まで何でも相談することができます。コミュニケーションが円滑なことで日々の研修で習得することが明確になり医師としての実力を身につけるのに適した環境となっています。

病院全体の雰囲気としては広々として開放的で落ち着いた感じです。医局には個人の机があり自由に使うことができます。研修医同士で机が並んでおり同期と研修中に起きた出来事を話し合ったり業務を一緒にこなしたりして日々研鑽を重ねています。

当院の魅力は文章だけでは伝わらないと思います。少しでも興味を持たれた方は是非見学にいらしてください。研修医一同お待ちしております。

よりよい医療福祉を追究し実践へと
発展できる方を求めます

がん・血管病を中心とした高度医療の
基礎を習得することができます

研修プログラムの目的、特徴

時代の要請に応じたプライマリ・ケアの充実ならびに全人的に患者を診療することのできる臨床研修プログラムであると同時に、専門医資格取得に向け、また後期研修に向けた効率的な初期研修を追求しています。

【幅広く研修可能な内科】内科研修は、30週間に循環器内科、脳神経内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、血液内科、腎臓内科、免疫内科、腫瘍内科をローテートします。循環器内科、消化器内科では専門科診療のみならず総合内科的な研修も行い、基本手技の習熟も目的としています。

【充実した麻酔科研修】救急医療実施に必須の手技は、十分な経験数を確保できます。救急症例も、優先して処置にあたっ

もらいます。

【協力施設との連携】施設の性質上、精神科、産婦人科、地域医療は協力病院もしくは協力施設での研修となります。複数の施設を経験できるのも魅力です。

【がん関連特有の診療科も選択可能】緩和ケア科や放射線治療科のほか、病理診断科を選択することも可能です。各科指導医による専門性の高い研修が経験できます。

【標準コース】標準的なプログラム内容で、2年目の選択を36週間としていますので、1年目の研修を経験しながら、自分にあった進路を見定めていただけます。

研修スケジュール例

1 年目	30週				8週	4週	6週	4週
	内科系				救急 (うち麻酔科4週)	麻酔科	自由選択	外科系
2 年目	4週	4週	4週	4週	36週			
	地域医療	小児科	産婦人科	精神科	自由選択			

※1年目、2年目とも時間外救急外来対応を行います。

研修協力病院、研修協力施設

(研修協力病院) 大津赤十字病院、滋賀医科大学医学部附属病院、近江八幡市立総合医療センター、長浜赤十字病院、京都大学医学部附属病院、済生会守山市民病院、滋賀県立精神医療センター、湖南病院、豊郷病院、済生会滋賀県病院、ヴォーリス記念病院、聖隷淡路病院

(研修協力施設) 東近江市永源寺診療所、地域包括ケアセンターいぶき、守山野洲医師会加入の診療所

募集要項

- [募集人数] 10人
- [試験日程] 7月19日(土)と8月30日(土)の2日程から選択
- [選考方法] 面接、筆記試験
- [身分] 研修医(会計年度任用職員)
- [給与] 1年目 おおよその月額351,000円
2年目 おおよその月額359,000円
期末・通勤・時間外手当別途支給
※なお、法令改正により身分等が変更となる可能性があります。
- [社会保険] 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- [住居] 単身者用宿舎あり

育児支援の取組

- ・院内保育
- ・配偶者出産休暇、部分休業
- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和
- ・日直の免除、緩和

など



応募連絡先

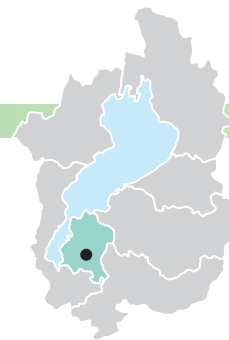
滋賀県立総合病院

- [所在地] 守山市守山五丁目4-30
●JR守山駅 バス10分
●栗東IC 15分
- [担当部署] 総務課総務係
- [電話] 077-582-8034
- [FAX] 077-582-5931
- [E-mail] resi-center@mdc.med.shiga-pref.jp



- ① 市立大津市民病院
- ② 大津赤十字病院
- ③ 滋賀医科大学附属病院
- ④ JCHO 滋賀病院
- ⑤ 淡海医療センター
- ⑥ 滋賀県立総合病院
- ⑦ 済生会滋賀県病院
- ⑧ 公立甲賀病院
- ⑨ 近江八幡市立総務医療センター
- ⑩ 東近江総合医療センター
- ⑪ 彦根市立病院
- ⑫ 市立長浜病院
- ⑬ 長浜赤十字病院
- ⑭ 高島市民病院

7 済生会滋賀県病院



所在地 栗東市大橋二丁目4-1
 開設者 社会福祉法人恩賜財団
 済生会支部滋賀県済生会
 開設年月日 大正13年10月
 病院長 三木 恒治

病床数  393 床	外来患者数  1081 人 (1日平均)	入院患者数  361 人 (1日平均)
医師数  133 人 男性98人 女性35人	指導医数  49 人	臨床研修医数  23 人 男性16人 女性7人

基本19領域診療科目

整形外科	産婦人科	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科
麻酔科	病理	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科
		臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科	総合診療

病院の アピールポイント

初期臨床研修プログラム責任者・臨床研修センター長
 救命救急センター副センター長・循環器内科主任部長
倉田 博之



当院では、年間約7,500件の救急車搬送に対応する3次救命救急センター（ドクターカー・京滋ドクターヘリなどのプレホスピタルを含む）での日当直経験が積めます。これにより初療対応を学び、総合内科、外科、小児科外来でプライマリーケア能力を高めることができます。また、各科の豊富な症例数・手術件数を経験でき、ダビンチなどの高度先端医療にも触れることができます。さらに日当直で経験した症例に対するERカンファレンス、スキルスラボでの各種実習、多職種チーム活動、臨床倫理・退院調整カンファレンスなどに参加して、初期対応、チーム医療、コミュニケーション法、リスクマネジメント、臨床倫理まで視野に入れた臨床問題解決能力を養えます。

当院における研修は確かにハードです。しかし研修医が2年間で身に付けておくべきプライマリーケアを高いレベルで習熟したい、そのためには多少の苦労はいとわれない、といった方には満足できる研修病院であると考えます。（健康・ワークライフバランスを考慮して当直明けは午前10時に帰宅）

医学生の皆様、当院で厳しい中にも実り多い研修医生活をエンジョイしませんか。是非一度 病院見学へ！お待ちしております。

研修医 **堀上 裕紀**

当院は、急性期医療を中心に幅広い症例を経験できる地域の中核病院です。救命救急センターを有し、ICUでの重症管理から一般病棟での一般的な疾患まで、バランス良く学べる環境が整っています。ドクターカーやドクターヘリを配置しており、研修医も病院前診療に携わることができます。また、日当直で経験する搬送のすべてでファーストタッチを研修医が行っております。毎朝、当直で経験した入院症例について同期・上級医に共有するカンファレンスを行っており、自身の診療にすぐにフィードバックをもらえる環境があります。指導医の先生方は熱心で、マンツーマンでの丁寧な指導に加え、自分の考えが尊重される風土があり、主体的に診療に関わることができます。各部署との垣根も低く、相談や連携がしやすいため、チーム医療の大切さも肌で感じることができます。また患者さんの背景に寄り添った医療など地域医療の視点も学ぶことができ、医師としての総合力を高められる研修環境で、急性期から慢性期まで、幅広い力を付けたい研修医にとって、非常に魅力的です。研修医が日々切磋琢磨している姿を見に、ぜひ一度見学にお越しください。



初期から「即、活躍したい」
熱意ある研修医を求めます

豊富な症例が経験でき、質の高い
チーム医療が学べます

研修プログラムの目的、特徴

救命救急センターを中心としたプライマリ・ケアの基礎臨床知識を学ぶこと、豊富な臨床症例をもとに迅速かつ適切な判断力と診断能力を養えるようにします。

医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず医学や医療の役割を認識し、日常、一般的に遭遇する疾患を適切に対応する基本的能力を身につけます。

研修スケジュール例

1 年目	24週	12週	8週	8週
	内科	救急	麻酔科	産婦人科・小児科・精神科・外科から2科目1カ月ずつ
2 年目	8週	4週	40週	
	産婦人科・小児科・精神科・外科から2科目1カ月ずつ (前年度に未履修の科)	地域医療	選択科目	

※ローテーションは変更可能。

※救急12週間必修のうち4週間は救急外来(当直業務)で研修とする。

※一般外来は総合内科(週2回)、外科(週1回)、小児科(週1回)においてそれぞれ並行研修を行い、さらに上限を3週間として地域医療研修時に経験する。

研修協力病院、研修協力施設

京都府立医科大学附属病院、滋賀医科大学医学部附属病院、一般社団法人水口病院、滋賀県立総合病院、済生会守山市民病院、弓削メディカルクリニック、栗東市内8施設、草津市内5施設、その他(守山・湖南)3施設、他滋賀県済生会関連施設

募集要項

- [応募資格] 令和7年度医師臨床研修マッチングに参加し、第120回医師国家試験を受験予定の者
- [募集人数] 10人
- [試験日程] 8月に2回実施予定
- [選考方法] 面接、小論文、筆記試験
- [身分] 常時勤務の準職員
- [給与] 1年次 年額約570万円(月額約44万円)
2年次 年額約680万円(月額約53万円)
※諸手当(時間外手当、日当直手当、住宅手当、賞与等)含む
- [社会保険] 健康保険、厚生年金保険、介護保険、雇用保険、労災保険

育児支援の取組

- ・院内保育
- ・短時間正社員制度
- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和
- ・日直の免除、緩和

など

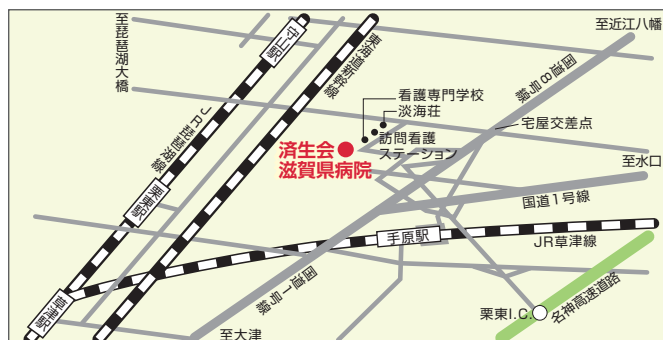


応募連絡先

済生会滋賀県病院

- [所在地] 栗東市大橋二丁目4-1
●JR手原駅 徒歩約15分
●名神高速 栗東IC 1分

- [担当部署] 事務部人事課
[電話] 077-552-1221
[FAX] 077-553-8259
[E-mail] kensyu@saiseikai-shiga.jp



- ① 市立大津市民病院
- ② 大病津赤十字病院
- ③ 滋賀医大附属病院
- ④ JCHO 滋賀病院
- ⑤ 淡海医療センター
- ⑥ 滋賀県立総合病院
- ⑦ 済生会 滋賀県病院
- ⑧ 公 立 甲賀病院
- ⑨ 近江八幡市立総医療センター
- ⑩ 東近江総合医療センター
- ⑪ 彦根市立病院
- ⑫ 市立長浜病院
- ⑬ 長浜赤十字病院
- ⑭ 高島市民病院

8 公立甲賀病院



所在地 甲賀市水口町松尾1256
開設者 地方独立行政法人公立甲賀病院
開設年月日 昭和14年6月
病院長 辻川 知之



病床数  413床	外来患者数  797.1人 (1日平均)	入院患者数  313人 (1日平均)
医師数  78人 男性55人 女性23人	指導医数  27人	臨床研修医数  10人 男性8人 女性2人

基本19領域診療科目

整形外科

産婦人科

内科

小児科

皮膚科

精神科

外科

麻酔科

病理

臨床検査

救急科

形成外科

リハビリテーション科

放射線科

病院の/

アピールポイント

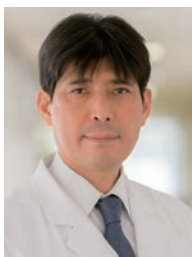
研修プログラム責任者 小河 秀郎

公立甲賀病院は、甲賀保健医療圏の基幹病院であり、疾病予防、急性期、回復期、慢性期、在宅医療にいたる全ての医療を担っています。

現代では、専門医であっても慢性期にも対応できる総合的臨床力が求められます。当院は、ハイケアユニット、急性期病棟に加え、健診センター、回復期リハビリテーション病棟、緩和ケア病棟、訪問診療部も包含した真の総合病院です。当院で学ぶ研修医の皆さんは、救急・急性期医療に加え、疾病予防、リハビリテーション、在宅医療、終末期医療など、全人的医療をシームレスに学ぶことができます。2019年には滋賀医科大学と地域医療教育研究拠点の協定を結び、大学の希望診療科で2カ月間の研修を組み込むことも可能です。

医局は、院長室、医師席、研修医室をワンフロアに集結し、研修医の皆さんは、どの科のどの指導医とも気軽に相談でき、診療科の垣根を超えたアットホームな雰囲気の中で臨床を学ぶことができます。各専門科のスタッフが充実し、個々の専門的知識を2年間で存分に学べる体制が整っています。

歴史ある甲賀地域で、楽しく充実した研修生活をぜひ一緒に楽しみましょう。



研修医 石原 寛太

当院の臨床研修の特徴は、①研修医数が比較的少なく十分な経験を積めること、②軽症から重症まで多彩な救急症例を経験できること、③教育熱心な雰囲気が根付いていることの3点です。

当院の研修医は1年目6人、2年目5人（令和6年度）と少人数であり、豊富な症例や手技を経験でき、研修医同士の協力体制も整っています。また、地域の基幹病院として、救急ではあらゆる症例を受け入れており、多様な症例を経験することで総合力を養えます。

教育体制も充実しており、各科の上級医に気軽に相談できるほか、滋賀医科大学の学生実習を受け入れており、研修医が指導する機会もあります。さらに指導医のレクチャーや症例検討会を通じて学びを深める機会も整えています。

2年目以降はほぼ自由に研修内容を選択でき、地域病院や大学病院での研修も可能です。給与・福利厚生も充実しており、公私ともに充実した研修生活を送ることができます。あなたも公立甲賀病院で医師としての第一歩を踏み出しませんか？



積極的に学び行動し、チーム医療に
貢献できる研修医

自由度の高いプログラムで総合的
臨床力を育む

研修プログラムの目的、特徴

本プログラムは、甲賀保健医療圏の中核病院である公立甲賀病院を基幹型臨床研修病院とした病院群から構成されています。地域の保健・医療・福祉・介護へのかかわりを通じて、総合的な臨床能力を有し、かつ、医の倫理・生命の倫理を尊重し、ヒューマニズムに基づいた全人的な医療を担える医師の育成を目指します。

プログラムの特徴としては、1年次に放射線科研修

を組み込み、早い時期から画像診断やカテーテル手技を学ぶことで総合的な臨床力が身につくことを目指しています。2年次には、希望の選択研修期間を7カ月とし、最長2カ月間滋賀医大での研修も選択可能です。総合病院である強みを生かして、将来専門とする診療科や関連する診療科を幅広く選択することで将来にわたって役立つ専門分野の知識と技術が早期から習得可能です。

研修スケジュール例

1 年目	24週					4週	4週	8週	4週	4週
	内科					放射線科	精神科	外科	小児科	救急外来
2 年目	4週	4週	4週	4週	4週	28週				
	産婦人科	救急外来	救急外来	地域医療	内科	希望選択科（1カ月毎に設定可、最長2カ月滋賀医大での研修も可）				

研修協力病院、研修協力施設

水口病院（精神科）、滋賀医科大学医学部附属病院、甲賀市立信楽中央病院（地域医療）、地域包括ケアセンターいぶき（地域医療）、野村産婦人科（産科）、甲賀保健所、弓削メディカルクリニック

募集要項

- [応募資格] 大学の医学部を卒業見込みの者
（医師国家試験を受験するもの）
- [募集人数] 6人
- [給与] 1年目：月額350,000円＋賞与3カ月＋通勤手当＋
宿日直手当＋時間外手当＋休日勤務手当＋住居手当
2年目：月額400,000円＋同上
- [有給休暇] 1年目10日間、2年目11日間
- [社会保険] 雇用保険、健康保険、厚生年金

育児支援の取組

- ・院内保育
- ・短時間正社員制度
- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和
- ・日直の免除、緩和

など



応募連絡先

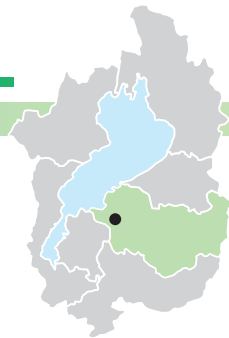
公立甲賀病院

- [所在地] 甲賀市水口町松尾1256
● JR 貴生川駅 バス20分
● 名神高速 栗東湖南IC 25分
- [担当部署] 人事課
- [電話] 0748-62-0234
- [FAX] 0748-63-0588
- [E-mail] khjinji27@kohka-hp.or.jp



- ① 市立大津市民病院
- ② 大病津赤十字病院
- ③ 滋賀医大附属病院
- ④ JCHO 滋賀病院
- ⑤ 淡海医療センター
- ⑥ 滋賀県立総合病院
- ⑦ 済生会 滋賀県病院
- ⑧ 公立甲賀病院
- ⑨ 近江八幡市立総合医療センター
- ⑩ 東近江総合医療センター
- ⑪ 彦根市立病院
- ⑫ 市立長浜病院
- ⑬ 長浜赤十字病院
- ⑭ 高島市民病院

9 近江八幡市立総合医療センター



所在地 近江八幡市土田町1379
開設者 近江八幡市長
開設年月日 平成18年10月1日
病院長 白山 武司

病床数 407床	外来患者数 915人 (1日平均)	入院患者数 340人 (1日平均)
医師数 111人 男性80人 女性31人	指導医数 48人	臨床研修医数 21人 男性13人 女性8人

基本19領域診療科目

整形外科	産婦人科	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科
麻酔科	病理	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科
		臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科	総合診療

病院の/ アピールポイント

医師臨床研修センター長兼循環器内科主任部長
中上 拓男



当院は琵琶湖東岸の東近江医療圏に位置し、3次救命救急センターおよび周産期母子医療センターなどの重責を担う基幹病院です。医療圏内で発生する救急要請患者の半数以上、ほぼ全ての重症患者が当院へ収容されます。初期研修医一人あたりの経験症例が非常に豊富であり、忙しい面もありますが、初期研修にはうってつけの環境であると思います。

初期臨床研修必修分野については、当院内でほぼ修了可能であり、精神科、地域医療研修など院外研修をしてもらいます。また、2022年度からは沖縄での離島研修が選択可能となりました。他にも、院内に無い診療科については希望があれば2年目に連携施設での研修選択も可能です。

当院での研修の特徴は、診療、手技、手術などに積極的に関わっていく“参加型”研修です。各診療科の垣根が低く相談しやすい環境にあり、レジデントの先輩たちは皆さんの良き目標となり、よき相談相手にもなってくれるでしょう。

最後になりましたが、先生方が医師として素晴らしいスタートを切られることを、心より楽しみにしております！

研修医 力石 宙也



当院は東近江医療圏唯一の三次救急病院であり、救命救急センター、周産期母子医療センターなど様々な機能を有しています。同医療圏で発生する救急症例の半数以上、重症例のほぼ全例が当院へ搬送されます。これらの症例に対し、救急外来では常に上級医に相談できる環境の下、研修医がfirst touchから診療を行います。

また救急医療だけでなく、新生児医療にも深く携わり、県内の小児医療の中核を担う小児科、県内トップクラスの症例数を誇り稀少疾患にも対応する循環器内科や症例豊富で全ての腎代替療法に対応可能な腎臓内科をはじめとして各診療科も充実しています。新しく来られた先生が驚くほど「研修医を育てる・教える」文化が根付いていることも当院の魅力です。多彩な症例・教育的な上級医のいる環境で、様々な経験を積みながら、common diseaseから稀少疾患まで厚みのある研修を行うことができます。

家庭医療学分野で全国的に有名な弓削メディカルクリニックでの地域医療研修、沖縄県伊江島での離島研修など、普段の急性期病院とは違う環境で行う院外研修も当院の魅力の一つです。

楽な研修ではないかもしれませんが、成長できる環境と共に歩んでいける仲間が当院にはいます。ぜひ一度見学へ、そしてぜひ私たちと共に働きましょう。

協 調性に富みチーム医療を目指す、
やる気のある研修医を求めます

た くさんの先輩たちに囲まれながら
アットホームな研修ができます

研修プログラムの目的、特徴

将来、どの診療科に進もうと、必ず必要となる総合的、包括的な診療の習得を目的とした研修です。

2020年度から始まった新しい臨床研修カリキュラムに沿って、1年目に必須科目を広く研修しプライマリ・ケアを習得、2年目にはその知識を基に地域医療や精神科などの研修を行います。また救急医療は東近江医療圏の救命救急センターでの研修で、1年

目に8週間のローテート、2年間には後輩への指導も行いつつ、救急総合診療に重点を置いた研修が特徴です。また滋賀県4つの周産期母子医療センターの1つで、市中病院としては珍しく小児外科もあり、成育系の包括的な研修が可能なのも特徴の1つです。

研修スケジュール例

1 年目	24週	8週	4～8週	6週	6～10週
	内科(総合内科、血液内科、代謝・内分泌内科、腎臓内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科)	救急医療	必修科目(外科)	麻酔科※	自由選択
2 年目	12週	4週	4～6週	30～32週	
	必修科目(小児科、産婦人科、精神科)	救急医療	地域医療	自由選択(希望する診療科)	

※内科は、総合内科(呼吸器内科、膠原病内科)、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、代謝・内分泌内科、血液内科、脳神経内科とします。

※外科は、消化器外科のほか、整形外科や脳外科などの診療科も研修可能。

※麻酔科を院内必修科目としています。

※2年目は1年目に回れなかった必修科目と希望する診療科をローテートし、外来診療も並行研修。

研修協力病院、研修協力施設

京都府立医科大学附属病院、滋賀医科大学医学部附属病院、滋賀県立総合病院、滋賀八幡病院(精神科)、国立病院機構東近江総合医療センター、ヴォーリス記念病院、弓削メディカルクリニック、近江八幡市蒲生郡医師会診療所、東近江医師会診療所、伊江村立診療所(沖縄)

募集要項

[応募資格] 医師免許取得見込(既卒)者で医師国家試験受験予定者

[募集人数] 8人

[試験日程] 第1日程令和7年8月2日(土)、第2日程令和7年8月16日(土)

[選考方法] 書類審査・作文・面接

[処遇] (身分) 会計年度任用職員

(賃金等) 1年目400,300円 2年目403,000円

(手当・賞与別)

地域手当、通勤手当、住居手当、宿日直手当、
時間外手当等

(休暇) 有給休暇、特別休暇有

育児支援の取組

- ・院内保育
- ・短時間正社員制度(要相談)
- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和(要相談)
- ・日直の免除、緩和(要相談)

など



応募連絡先

近江八幡市立総合医療センター

[所在地] 近江八幡市土田町1379

● J R 近江八幡駅 徒歩20分

● 名神高速 竜王IC 15分

[担当部署] 総務課

[電話] 0748-33-3151

[FAX] 0748-33-4877

[E-mail] ocmc-ikyoku@kenkou1.com



10 東近江総合医療センター



所在地 東近江市五智町255
開設者 独立行政法人国立病院機構
開設年月日 平成16年4月1日
病院長 野崎和彦

病床数  320床	外来患者数  458.8人 (1日平均)	入院患者数  201人 (1日平均)
医師数  54人 男性38人 女性16人	指導医数  32人	臨床研修医数  5人 男性4人 女性1人

基本19領域診療科目

整形外科

産婦人科

内科

小児科

皮膚科

精神科

外科

麻酔科

病理

臨床検査

救急科

泌尿器科

脳神経外科

放射線科

病院の/

アピールポイント

研修責任者 内科診療部長 杉本 俊郎

1.当院の特徴の一つは、内科系や救急の専門医が集まる毎朝カンファレンスです。各診療科でのカンファと異なり、全科の医師が知っておくべき重要な疾患や薬剤の副作用などの情報をリアルタイムに共有することができます。また、専門外であっても夜間や休日に遭遇するcommon diseaseは一定レベルの診療ができるように、カンファレンス中に指導医のアドバイスを受けながら診断能力と治療内容を統一し、診療の均てん化に役立てています。初期研修医はcommon diseaseを繰り返し学び、かつ司会からの質問に答えることで、基礎診療能力を高めることができるシステムです。さらに、カンファレンス中に症例報告を行うことで、スライド作成やプレゼン能力も鍛えられます。



2.アメニティーの特徴として、初期研修医は全員が集まる研修医談話室だけでなく、官舎とは別に病院管理棟内にある研修医個室(机とシャワー、ベッドが完備)が供与されます。自分の空いた時間で勉強や休憩を取り、快適な研修生活が過ごせるようになっています。

3.滋賀県随一のスキルスラボを有しています。心音・呼吸音聴診、腹部超音波、内視鏡操作、IVR手技など多くのシミュレーターを備えており、何時でもトレーニングすることが可能です。

このように、ハード・ソフト面との良好な研修環境を整えています。当院は滋賀医科大学の地域医療教育の拠点の一つでもあり、医学生の通年実習を通年で行っております。院内の上級医全員が医学教育に熟知していますので安心して研修してください。

研修医 市田 匠

当院は地域に根差した市民病院であり、common diseaseの診療や地域医療について学ぶことができます。

当院の特徴の一つである朝カンファでは内科系の全医師や救急科、放射線科等の多くの医師が参加してそれぞれの症例を検討します。朝カンファでのプレゼンを通して、担当症例についてより深く学ぶことができます。また、他の医師のプレゼンを聴くことで担当症例以外の疾患についてもどのように診断し、治療方針を立てればよいのか参考にできます。



どの科の先生方も教育熱心であり、全診療科で役に立つ基礎的な知識・技術から各診療科に特化した応用的な技能など、個々のレベルと目標に合わせた研修ができます。さらに、診療科ごとの垣根も低いためローテーション中の科以外の上級医にも気軽に相談や質問ができます。

夜間救急では必ず指導医と一緒に診察するため、慣れていない間は指導医のサポートを受けながら、自らの診療技術が十分に成長したと判断すればファーストタッチで診療することも可能です。

給与や休日もしっかり確保されているため学びだけでなく自分のための時間も充実した研修期間を送れます。

少しでも興味をお持ちになったら、ぜひ病院見学にお越しください。

積極的に行動し、総合的な能力を身に付けたい研修医を求めます

毎日のカンファを通して、救急と総合診療の土台を築くことができます

研修プログラムの目的、特徴

超高齢化と少子化が顕著となるこれからの社会においては、医師と患者の良好なコミュニケーションに基づいた全人的で幅広い診療が求められます。医師の最も基礎となる当院の初期研修では、医療面接、身体診察、典型例の画像診断、基本的手技などが偏ることなく一定レベル以上に到達することを目的として、1年目は内科系診療科を中心とした研修により問診や診察を繰り返してトレーニングし、2年

目は外科系や麻酔科・救急を回することで個人の能力をレベルアップするプログラムとしています。また、2年間を通じて全内科医・救急医合同の毎朝カンファレンスに出席し症例のプレゼンや議論に参加することで、様々な年齢の医師や医学生とも良好な人間関係を築きながら、プロフェッショナリズムの素養を身に着けます。

研修スケジュール例

1 年目	6週	6週	6週	6週	6週	6週	6週	6週
	糖尿病・ 内分泌内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	総合内科	外科	産婦人科	小児科
2 年目	6週	6週	6週	6週	4週	12週	6週	6週
	自由選択1	地域医療	外科系	自由選択2	麻酔科	救急	自由選択3	精神科

※自由選択は6週間×3回でまとめても可能。

研修協力病院、研修協力施設

滋賀医科大学医学部附属病院、滋賀八幡病院、近江八幡市立総合医療センター、東近江市永源寺診療所、弓削メディカルクリニック、あいとう診療所

募集要項

〔応募資格〕 令和8年3月に大学の医学部を卒業見込で医師免許取得見込の者・または医師免許既取得者

〔募集人数〕 4人
(定数調整により変更する場合があります)

〔身分〕 期間職員

〔給与〕 約411,000円 賞与年2回

〔保険〕 共済組合、雇用保険、労災保険、厚生年金

〔宿舎〕 有り(個室ワンルームタイプ、家電完備)

育児支援の取組

- ・院内保育
- ・短時間正社員制度
- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和(要相談)
- ・日直の免除、緩和(要相談)

など

応募連絡先

東近江総合医療センター

〔所在地〕 東近江市五智町255
●近江鉄道八日市駅 バス15分
●名神高速 八日市IC 2分

〔担当部署〕 管理課

〔電話〕 0748-22-3030

〔FAX〕 0748-23-3383

〔E-mail〕 syokuinka@ma.city.hikone.shiga.jp

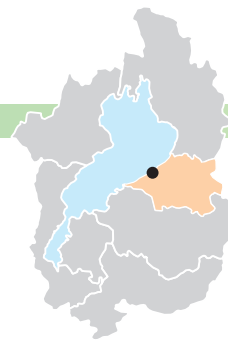


- ① 市立大津市民病院
- ② 大病津赤十字病院
- ③ 滋賀医科大学附属病院
- ④ JCHO 滋賀病院
- ⑤ 淡海医療センター
- ⑥ 滋賀県立総合病院
- ⑦ 済生会 滋賀県病院
- ⑧ 公立公甲賀病院
- ⑨ 近江八幡市立総合医療センター
- ⑩ 東近江総合医療センター
- ⑪ 彦根市立病院
- ⑫ 市立長浜病院
- ⑬ 長浜赤十字病院
- ⑭ 高島市民病院

11 彦根市立病院



所在地 彦根市八坂町1882
開設者 彦根市長
開設年月日 1891年
病院長 中野 顯



病床数  438床	外来患者数  811人 (1日平均)	入院患者数  302人 (1日平均)
医師数  69人 男性56人 女性13人	指導医数  42人	臨床研修医数  7人 男性4人 女性3人

基本19領域診療科目

内科

小児科

皮膚科

精神科

外科

整形外科

産婦人科

眼科

耳鼻咽喉科

泌尿器科

脳神経外科

放射線科

麻酔科

病理

臨床検査

救急科

形成外科

リハビリテーション科

総合診療

病院の/

アピールポイント

臨床教育センター長 神田 健志

きめ細かで、程よいサイズ感の臨床研修という言葉が、当院での研修医たちの日々にぴったりです。当院の初期研修は特に「質」を重視しており、毎年の研修医募集枠を4人に絞っています。これにより、ひとりひとりが広範囲にわたり、深い知識を得ることができるだけでなく、それを実践することができます。よく見られる疾患から稀な疾患まで、多様な症例が豊富にあるのも当院の特徴です。その一方で、指導医とのディスカッションの時間も十分に確保されており、バランスの取れた臨床経験を積むことができます。指導医は、研修医からの疑問や意見を積極的に受け入れる熱意あるドクターばかりです。



学術面や知識面でのサポートも充実しており、各科別のカンファレンスに加え、さまざまな職種を含む医療連携チームのカンファレンスも日々実施しています。さらに、毎月1回、木曜日には定期的に研修医自身が企画・運営する勉強会が行われます。ここでは、症例を共有し、臨床研究に関する医学論文の基本的な読み方をじっくり学ぶことができます。

当院が目指すのは、「じっくり考える時間を大切に、周りの人との関わりを通じて自分を変えていける医師」です。ぜひ当院に来ていただき、共に語り合いたいです。

研修医 中村 祥吾

彦根市立病院の研修医は7名と比較的少数であり、お互いに切磋琢磨しながら日々研修しています。少数だからこそ、指導医の先生方は日常診療のことはもちろん、学会発表まで丁寧に指導して下さいますし、手技の経験もたくさん積むことができ、個人の希望に応じて研修することができます。また当院で主催されるさまざまな講習会にも参加できます。



当院は「断らない救急」を掲げており、軽症から重症まで幅広い患者さんが来院され、さまざまな救急症例を経験することができます。当院の研修で特徴的な点として、半直というシステムがあります。日常業務が終わった17:15から24:00まで当直の業務をこなし、翌日も無理なく働くことができるようになっています。また当直の回数も自分のスケジュールや体調に応じて自由に入ることができ、さらに内科・外科・小児科も自由に選べ、研修医はそれぞれの希望に応じて救急診療に参加できる点も魅力の1つです。

ぜひ一度当院へ見学に来ていただき、実際に研修医の話を聞き、病院全体の雰囲気を知っていただければと思います。

“一流の医療人”を目指すチャレンジ魂を持った研修医を求めます

3年目から一人立ちできるような実践力を習得することができます

研修プログラムの目的、特徴

本プログラムは、医師として基本的な診療能力を身につけチーム医療を実践しながら患者の権利と満足度に配慮した患者中心の医療を習得することを目的としています。患者のみならず、スタッフとのコミュニケーションを十分に図り、安全性、信頼性の高い良質な医療を行う基本姿勢を重視します。さら

に、医師として常に医学知識技能の習得に努めるよう心掛けることも重要です。

院内の各診療科のみならず、地域の病院、診療所、保健所とも協力し、プライマリケアをはじめとした様々な基本診療能力を効率よく身につけられるように、本プログラムは企画されています。

研修スケジュール例

1 年目	9週	8週	8週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	3週
	循環器内科	消化器内科	内科系 ※1	外科	外科系 ※2	麻酔科	救急	産婦人科	小児科	選択科目
2 年目	4週	4週	8週	36週						
	地域医療	精神科	救急	選択科目 ※3						

※1 血液内科、糖尿病代謝内科、呼吸器内科、脳神経内科から2科を選択(各4週)

※2 外科、乳腺外科、呼吸器外科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、脳神経外科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、形成外科から1科を選択

※3 自由に選択可能。 ※ローテーションは順不同。

研修協力病院、研修協力施設

公益財団法人豊郷病院(精神科)、滋賀医科大学医学部附属病院(希望選択科)、京都大学医学部附属病院、福井大学医学部附属病院(希望選択科)、近江八幡市立総合医療センター(産婦人科)、長浜赤十字病院(産婦人科、精神科)、徳田医院、松木診療所、つじ泌尿器科クリニック、いけだ内科医院、みやざわ内科クリニック、浅井東診療所(地域医療)

募集要項

[募集人数] 4人
[試験日程] 令和7年8月(予定)
[選考方法] 面接
[処遇] (身 分) 会計年度任用職員(常勤)
(給 与) 1年次 410,000円/月+賞与 1,227,000円/年
(年額 約725万円)
2年次 424,000円/月+賞与 1,954,000円/年
(年額 約835万円)
※年額は各種手当(時間外手当、宿直手当等)を含む。
(社会保険) 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
(休 暇) 有給休暇、夏季休暇 あり
(宿 舎) 単身用宿舎有り(月額15,000円)

育児支援の取組

- ・院内保育
- ・短時間勤務制度
- ・時間外勤務免除、緩和(要相談)
- ・宿直の免除、緩和(要相談)
- ・日直の免除、緩和(要相談)

など

応募連絡先

彦根市立病院

[所在地] 彦根市八坂町1882
● J R 南彦根駅 バス約10分
● J R 彦根駅 バス約20分
● 名神高速 彦根IC 20分

[担当部署] 職員課

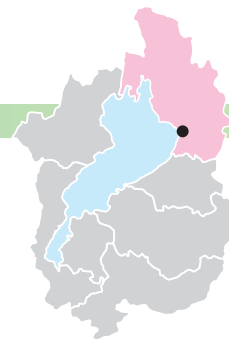
[電 話] 0749-22-6050

[F A X] 0749-26-0754

[E-mail] syokuinka@ma.city.hikone.shiga.jp



12 市立長浜病院



所在地 長浜市大戌亥町313
 開設者 長浜市長
 開設年月日 昭和19年6月25日
 病院長 高折 恭一

病床数  565床	外来患者数  859人 (1日平均)	入院患者数  327人 (1日平均)
医師数  86人 男性76人 女性10人	指導医数  37人	臨床研修医数  12人 男性11人 女性1人

基本19領域診療科目		内科	小児科	皮膚科	精神科	外科
整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科
麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科	総合診療

病院の アピールポイント

院長 高折 恭一

長浜市は、秀吉が長浜城の城下町として整備し、琵琶湖水運の要衝として発展してきた風光明媚な地域です。隣接する米原市とともに、琵琶湖の北東部を占める人口約16万人の湖北保健医療圏を形成しています。新幹線を使えば京阪神へのアクセスは非常に良好です。



市立長浜病院は湖北保健医療圏の基幹病院で、高度急性期から、急性期、回復期、慢性期の患者すべてに対応しています。地域がん診療連携病院に指定されており、専門的ながん治療を提供する一方、滋賀県で初めて脳卒中ケアユニット（SCU）を設置して救急診療にも注力しているほか、血管造影撮影装置を増設し、より高度な医療を提供できるようになるなど多種多様な疾患を診ることができます。研修医の自主性を重んじた研修プログラムを組んでおり、地域医療・在宅医療を含めて幅広く学ぶことができます。

研修の2年間で特に学んでほしいことは、医療人としての基本となる、メディカルスタッフとの協調性と患者さんに対する誠実性、そして謙虚に反省して明日の成長へとつなげることができる能力です。

研修医の皆さんが、当院に新たなエネルギーを吹き込んでくれることを期待しています。

研修医 兼久 樹

昨年4月に長浜に移り、当院での研修生活が始まって既に一年が経ちました。右も左も分からない状態からスタートし、様々なメディカルスタッフの皆様のご指導の下、少しでもこの地域医療に貢献できるように日々研鑽を積んできました。



この一年間の研修医生活で感じた当院における研修のメリットは、研修医の要望に対して出来るだけ柔軟に対応してもらえることです。これにより研修医は自らの進路と十分に向き合うことのできるカリキュラムで研修することができます。また、当院以外に滋賀医科大学・長浜赤十字病院・彦根市立病院・近江八幡市立総合医療センター等で研修をする機会があるため、普段と異なる環境で手技や医学的知識を学んだり、他病院の研修医と情報を交換し合うなど貴重な繋がりを持つことも出来ます。さらに、長浜は古くからの交通の要所ということもあり、週末や連休などに新幹線を使えば大阪・京都や名古屋にもアクセスしやすく、北陸新幹線が延伸されたため、福井、金沢にもアクセスしやすくなり、冬には伊吹山でスキーなど、休日余暇を楽しむことができます。是非一度、見学に来て頂ければと思います。

何事にも協調して誠実に取り組み、
元気な病院を築ける方を求めます

救急医療と、全人的なプライマリ・
ケアを重視した研修ができます

研修プログラムの目的、特徴

【目的】

“医の原点”とも言うべき救急医療と、全人的なプライマリ・ケアを重視した初期研修の場の提供と人材育成

【特徴】

- 1年目は基本研修科目とし、救急医療とプライマリ・ケアに必要な知識と技術の習得を重視した研修を行います。
- 選択科目(最長11か月)は原則として基本研修科目、必修研修科目をさらに深く研修するため、または研修が不十分と判断された科目の再履修にあてます。ただし、希望があれば、他の専門領域の選択も可能となり、自主プログラミングをすることで、研修医の自主性を尊重できる研修を実施しています。

- 選択科目においては、希望する診療科、研修期間など、研修医の将来の希望に応じた研修スケジュールを最大限尊重するように組んでおり、自由度が高いと同時に、自主性を重視しています。
- 月4回程度の宿日直研修では、研修医が担当する割合が大きく実践的な研修を行えるなかにも、上級医の監督・指導の下(2年目研修医はファーストコールを任される)で知識や手技を的確に習得できます。
- 地域の基幹病院としての充実した設備の下、多彩な選択領域のなかで幅広い症例や疾患を経験することができます。
- 研修医教育のための勉強会を多数用意。院外講師(総合診療医)を招くなど、スキルアップを目的とした多彩な研修会を通じて、自己研鑽を奨励します。

研修スケジュール例

1 年目	24週	12週	4週	4週	4週	4週
	内科	救急 ※1	外科	小児科	産婦人科	精神科
2 年目	4週	48週				
	地域医療	選択科目 ※2				

※1 4週まで麻酔科可。

※2 外科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療は8週以上が望ましい。一般外来4週以上を含む(8週以上が望ましい)。

研修協力病院、研修協力施設

セフィロト病院(精神科)、滋賀医科大学医学部附属病院、長浜赤十字病院、湖北保健圏域の診療所、近江八幡市立総合医療センター、彦根市立病院

募集要項

- [募集人数] 6人
- [試験日程] 令和7年8月予定(決定しだいホームページにてお知らせします)
- [選考方法] 面接
- [処遇] 1年次466,000円/月[年収約560万円]
2年次650,000円/月[年収約780万円]
*年収ベースで月額に換算し、月額には諸手当(通勤手当、時間外勤務手当、期末手当(賞与))、家賃負担分を含む
- [社会保険] 健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険
- [宿舎] 2LDKアパート(自己負担額:20,000円)、一戸建てあり

育児支援の取組

- ・院内保育
- ・短時間正社員制度
- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和
- ・日直の免除、緩和

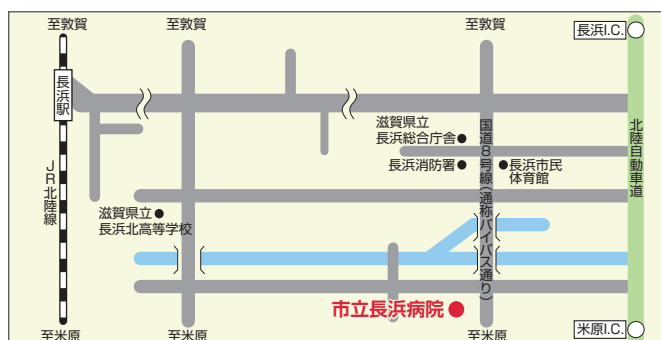
など



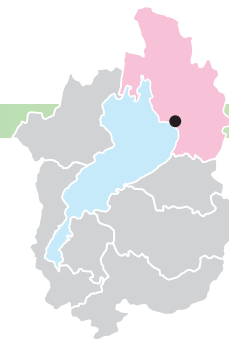
応募連絡先

市立長浜病院

- [所在地] 長浜市大成亥町313
●JR長浜駅 バス10分
●北陸自動車道 長浜、米原IC 10分
- [担当部署] 総務課
- [電話] 0749-68-2324
- [FAX] 0749-65-1259
- [E-mail] nch-soumu@city.nagahama.lg.jp



13 長浜赤十字病院



所在地 長浜市宮前町14-7
開設者 日本赤十字社
開設年月日 昭和7年4月6日
病院長 楠井 隆

病床数  492床	外来患者数  935人 (1日平均)	入院患者数  335人 (1日平均)
医師数  83人 男性68人 女性15人	指導医数  37人	臨床研修医数  10人 男性4人 女性6人

基本19領域診療科目

整形外科	産婦人科	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科
麻酔科	病理	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科
	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科	総合診療	

病院の アピールポイント

院長 楠井 隆

当院は500床程度の病床を有しますが、研修医は各学年4名(他に大学プログラムからの1年次のみ1名程度あり)と少人数で、症例、指導者いずれの点でも密度の濃い研修が可能です。救急当直は決して楽ではありませんが、各診療科の相互協力は密で、お互いが各々の専門性を持ち寄って診療に当たる家族的な雰囲気があります。実際、時間帯によっては自分の専門範囲の重症例が来院している時に相談する前から救急センターに来てくれる医師も少なくありません。家族的な雰囲気は看護師を始め他の職種も同様で、これらの中にも研修医教育に熱心なものがたくさんあります。地域医師会などとの交流の場も多く、他職種を含めた連携を学ぶには最適の環境だと思います。

地域の特色としては、夏は琵琶湖の、冬はスキーなどと自然にふれあう楽しみがあり、歴史上の名所も点在するなど余暇も楽しめます。都会の大病院とは違った魅力のある当院で医師人生を始めてみませんか？



研修医 西村 瑠華

長浜赤十字病院は、「赤十字社」であるため救急医療・災害医療に熱心に取り組んでいます。

救急医療に関して、研修医の救命救急センター当直では、内科・外科・小児科の中から将来の診療科や勉強したい内容にあわせて当直での診療科を自由に選択できます。さらに、どの科であっても必ず診察時には上級医が1人ついて、研修医は問診・選んだ検査や処方についてその場でアセスメントしフィードバックを受けることができます。

災害医療では、BLSやACLS受講を推奨しており、受講にあたって病院より補助金が出ます。また、大規模災害訓練や救護班訓練を行い、もしもの時に対して常に備えています。さらに、日頃からICLSコースを院内で開催しており、研修医もインストラクターとして受講生に指導を行います。

滋賀県北部に位置する地方病院ですが、その分アットホームで医師間・医師・メディカルスタッフ間の距離が近く、互いの得意分野を学び学ばれることのできる病院です。是非一度当院にお越しいただき、雰囲気を見学してみてください。お待ちしております。



病 気のみではなく患者を診る全人的医療を目指す研修医を求めます

救 急をはじめ豊富な症例や院内外での多様な連携を学ぶことができます

研修プログラムの目的、特徴

医師として必要な診療に関する基本的知識を中心に臨床検査、治療法を学び病者に対するやさしい全人的な応接ができるような研修を目的とします。また、救急科の実習によりプライマリ・ケアが十分できるような研修医を養成します。

救命救急センターでの研修では指導医とともにこなす

副直にてファーストタッチの診療に当たるなどプライマリ・ケアの要点を網羅するような経験が可能です。豊富な症例の割に研修医の数が少なく、診断・治療のあらゆる場面で主体的に参加することが求められています。精神科を併設しており、精神疾患のみならず他疾患での精神的問題のケアも学べます。

プログラム名	1年目	2年目	募集人数
臨床研修プログラム	長浜赤十字病院	長浜赤十字病院等48週、地域医療研修4週	5人

研修スケジュール例

1 年目	1週	31週				8週	4週	8週
	テオリエンテーション	内科				救急科 ※1	麻酔科	小児科
2 年目	4週	4週	4週	4週	36週			
	外科	精神科	産婦人科	地域医療	将来専門としたい診療科を中心に関連の診療科で研修 ※2			

※1 救急部門は、救急部(救命救急センター)4週、救急麻酔4週に救命救急センター当直(週1回)を加え、計12週とする。
 ※2 糖尿病・内分泌内科、神経内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、救急科、精神科、地域保健より選択。

研修協力病院、研修協力施設

滋賀医科大学医学部附属病院、市立長浜病院、長浜保健所、雨森医院、浅井東診療所、橋本医院、地域包括ケアセンターいぶぎ、東近江市永源寺診療所、米原市地域包括医療福祉センター近江診療所、にしあざい診療所、弓削メディカルクリニック

募集要項

- [応募資格] 令和8年3月に大学の医学部又は医科大学を卒業見込の者で、医師免許を取得見込の者
- [募集人数] 5人
- [試験日程] 令和7年8月中に3回程度実施
- [選考方法] 面接、小論文
- [処遇] (身 分) 常勤嘱託職員
 (給 与) 1年次:330,000円/月 2年次:380,000円/月
 (賞 与) 各年次:700,000円/年
 (社会保険) 健康保険、厚生年金保険、企業年金基金、労災保険、雇用保険加入
 (手 当) 通勤手当、扶養手当、住居手当、日当直手当、時間外手当

育児支援の取組

- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和
- ・日直の免除、緩和(要相談)

など



応募連絡先

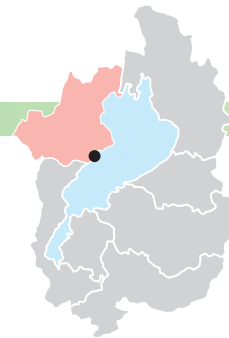
長浜赤十字病院

- [所在地] 長浜市宮前町14-7
 ● JR長浜駅 バス6分
 ● 北陸自動車道 長浜IC 8分
- [担当部署] 人事課 新井 雅
- [電 話] 0749-63-2111
- [FAX] 0749-63-2119
- [E-mail] resident@nagahama.jrc.or.jp



- 市立大津市民病院
- 大病津赤十字病院
- 滋賀医科大学附属病院
- JCHO 滋賀病院
- 淡海医療センター
- 滋賀県立総合病院
- 済生会 滋賀県病院
- 公立 甲賀病院
- 近江八幡市立 近江八幡医療センター
- 東近江総合医療センター
- 彦根市立 彦根病院
- 市立長浜 長浜赤十字病院
- 高島市 高島市民病院

14 高島市民病院



所在地 高島市勝野1667
開設者 高島市長
開設年月日 平成17年1月1日
病院長 武田 佳久

病床数  210床	外来患者数  356.9人 (1日平均)	入院患者数  162.8人 (1日平均)
医師数  28人 男性25人 女性3人	指導医数  19人	臨床研修医数  6人 男性6人 女性0人

基本19領域診療科目

整形外科

産婦人科

内科

小児科

皮膚科

精神科

外科

麻酔科

病理

臨床検査

救急科

形成外科

リハビリテーション科

放射線科

病院の/

アピールポイント

プログラム責任者 高橋 有和

当院の歴史は昭和25年に開設された診療所から始まっており、市民には大変身近な存在と認識されています。

5万人に満たない人口ですが、高島市内で発生した救急搬送症例の90%以上が当院に搬送されます。高島市の高齢化率は約37%と県内随一の高齢化地域です。高齢患者さんはcommon diseaseの合併も多く、幅広い疾患知識が必要となってきます。また、高齢者は生体防御力が低下しており重症化しやすい状態にあります。そのため、若年者と比べて、疾患治療の際にはより厳密な全身管理を要します。慢性期疾患のみならず、急性期治療に関しても学ぶことができます。

高度医療機関での治療を終えた患者さんを受け入れ、当院で診療を継続することもあります。退院に向けて必要な場合には、自宅環境の整備や地域の医療福祉サービスの導入を行います。急性期以降の経過も経験することで、患者さんの全人的な理解がより深まります。

当院は210床と臨床研修病院としては最小規模の施設です。医療スタッフや事務職員とも大変近い関係にあり、病院全体で臨床研修を応援しています。

この様な特徴のある環境が、医師のスタート地点として有意義であると確信しています。



研修医 森本 数万

高島市民病院は、病床数210床と研修指定病院としては小規模ではありますが、湖西地域で唯一の総合病院として、急性期医療から地域医療まで幅広く担っています。common diseaseに限らず、多種多様な症例を経験することができ、救急医療のfirst touchから関わらせていただける点が大きな魅力です。また、その後の急性期治療を経て、退院・転院に至るまで、多職種と連携しながら一貫して患者さんに関わる事が可能です。

さらに、手術や内視鏡、PICCなどの各種手技についても、上級医の先生方の丁寧なご指導のもとで積極的に取り組むことができ、実践を通して確かなスキルを身につけられる環境が整っています。

高島市民病院での研修の大きな特徴は、その「小回りの利く」規模感にあると感じています。セミナーやカンファレンスの数では大規模病院に及ばない部分もありますが、医局内の雰囲気は非常に風通しが良く、研修医の人数が少ないからこそ、一人ひとりの希望やペースに寄り添った柔軟な研修が可能です。また、上級医の先生方のみならず、他職種のスタッフの方々も研修医の顔と名前を覚えてくださり、常に温かい配慮を感じながら日々の診療に臨むことができます。

病院全体が一体となって地域と深く関わっているため、患者さん一人ひとりに対して包括的な医療を提供するとはどういうことかを、現場で実感しながら学べる貴重な場だと思います。

高島市民病院での研修に興味を持たれた方は、ぜひ一度見学にお越しください。実際の雰囲気を肌で感じていただければと思います。



病める人に寄り添う心と向上心を
持った熱意ある研修医を求めます

将来のキャリア形成の土台となる
幅広い診療能力の習得ができます

研修プログラムの目的、特徴

【内科】全人的医療の概念のもと、内科医師として内科関連疾患の診断・治療に関する基礎知識・技能・態度を修得します。

【救急診療】全ての臨床医に求められる救急患者の初期治療に関する基本的な知識・技能・態度を修得します。

【外科、麻酔】医の倫理に則し、外科疾患に対する基礎的な知識と診断能力・技能・態度を修得します。

【小児科】地域の中核病院としての診療に関わる中で、小児科診療全般に通ずる基本的知識・技能・態度を修得します。患児やご家族の気持ちを理解し配慮しながら診察にあたる態度を身につけます。自主的かつ積極的に学ぶ姿勢と、常に自らを見直す姿勢を身につけます。

【産婦人科】女性特有の疾患による救急医療、プライマリ・ケアを修得します。また、妊産褥婦ならびに新生児の医療に必要な基本的知識を修得します。

【精神科、神経科】精神疾患を生物学的視点、心理学的視点および社会的視点から総合的にとらえることのできる医師になることを目標として、基本的な精神疾患の診断、治療および予防に必要な技術と知識を修得します。

【地域医療】へき地診療を経験することで地域のニーズに合った地域診療、特にプライマリ・ケア、老人福祉医療を理解します。

研修スケジュール例

1 年目	32週			4週	4週	12週
	内科			小児科	外科	救急
2 年目	4週	4週	4週	40週		
	地域医療	精神科	産婦人科	選択研修 ※ (内科、外科、麻酔科、整形外科、脳神経外科、小児科、産婦人科、精神科、泌尿器科、総合診療科から選択)		

※選択研修中に到達目標に達していない項目について随時実施する。

研修協力病院、研修協力施設

滋賀医科大学医学部附属病院、大津赤十字病院、医療法人藤樹会滋賀里病院、医療法人明和会琵琶湖病院、高島市民病院朽木診療所、高島市民病院平良出張診療所、高島市民病院針畑診療所、介護老人保健施設陽光の里、高島市訪問看護ステーション

募集要項

- 【応募資格】 令和8年3月に大学医学部または医科大学を卒業見込の者で医師免許取得見込の者
- 【募集人数】 3人
- 【選考方法】 面接
- 【処遇】 会計年度任用職員（1年毎の更新）
1年次640,000円／月、2年次700,000円／月（年収ベースで計算し月額に換算）
（社会保険）共済組合・厚生年金保険・労災保険・雇用保険加入
（休暇）有給休暇10日、夏期休暇5日、年末年始
（宿舎）世帯用アパートあり

育児支援の取組

- ・院内保育
- ・短時間正社員制度
- ・時間外勤務免除、緩和（要相談）
- ・宿直の免除、緩和（要相談）
- ・日直の免除、緩和（要相談）

など

応募連絡先

高島市民病院

- 【所在地】 高島市勝野1667
● J R 近江高島駅 徒歩1分
＊ 琵琶湖西縦貫 国道161号線を北進
- 【担当部署】 病院総務課 臨床研修担当 衣川
- 【電話】 0740-36-8156
- 【FAX】 0740-36-8058
- 【E-mail】 takashima-hp@city.takashima.lg.jp



充実のサポート体制

■滋賀県医師キャリアサポートセンター

医学生・医師の充実したキャリアアップを全面的にサポート。奨学金制度のご案内、女性医師や若手医師の悩みに対応する相談窓口設置。



■臨床研修医総合オリエンテーション

滋賀県病院協会が主催する、新任の研修医を対象としたオリエンテーション。

医師同士の関係構築の場となるよう、指導医および先輩研修医を交えた交流会等を開催し、若手医師の県内定着促進をはかる。



前回の開催内容

- ・滋賀県病院協会長の挨拶、滋賀県知事からのビデオメッセージ
- ・滋賀県からの情報発信
- ・医療現場で活躍する医師を講師とした講演
- ・交流会

■WATCH in Shiga (Welcome and Training Conference Held in Shiga)

滋賀県医師会が主催する、1年目臨床研修医を対象とした研修会。「先輩医師が後輩医師を育てる」という理念のものと、グループワークや意見交換会を実施。



WATCH in Shiga グループワーク



シガリズム ～心ととのう滋賀・びわ湖のたび～

琵琶湖を始めとした自然と歩みをそろえ、ゆっくり、ていねいに暮らしてきた滋賀の時間の流れや暮らしを体感する心のリズムを整える新たな旅の提案♪

<https://shigarhythm.biwako-visitors.jp/>



滋賀ぐらし ～ほどほど田舎 ほどほど都会～

豊かな自然、便利な環境。“豊か”の源泉が多くある滋賀。人は、“気づく”たびに、気づいた人から豊かになっていく滋賀ぐらし、始めています。

<https://www.pref.shiga.lg.jp/iju/index.html>



問い合わせ先



滋賀県健康医療福祉部医療政策課（滋賀県医師キャリアサポートセンター）
 〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目 1-1（滋賀県庁） TEL 077-528-3613
 E-mail ef00070@pref.shiga.lg.jp FAX 077-528-4859

